

## 第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 小学 3・4 年生部門

### ●審査員 A

まず初めに、みなさんここまでよく準備をされ、選択した作品を高いレベルで演奏されたことに、お祝いを申し上げたいと思います。ここで、音作りについて少し考えてみましょう。どんな強弱で弾いているときでも、豊かに響き、歌うような、丸みのある美しい音を出すことに気を配るようにしましょう。もちろん、それには適切なテクニックとアーティキュレーションが必要です。指先はしっかりと力強く、でも手と腕は完全にリラックスした状態。それが基本です。そうすることで、音や空間、拍子間をコントロールし、作り出すことができます。また、テクニックを向上させ、より豊かな想像力を育むために、自分の音をしっかりと聴きましょう。

### ●審査員 B

この部門の参加者のレベルは非常に高いと思いました。いくつかの素晴らしい演奏には、本当に感動しました。この段階の音楽教育を担っていらっしゃる先生方の指導法やメソッド、そして参加者皆さんの音楽性と芸術的な感性に敬意を表したいと思います。

参加者の皆さんの多くはとても才能があり、将来ピアノの世界でご活躍される可能性に満ちています。長年このコンクールの審査をさせて頂き、若い参加者の皆さんのピアノ演奏のレベルと音楽に対する意識がますます高くなっていることに大きな感銘を受けています。

さらに近年では本コンクールにおいて、若い参加者の皆さんが、ロマン派の美学、特にショパンのスタイルとその独特の音楽言語をより良く理解していることに気づかされました。これは、参加者の皆さんの才能だけでなく、先生方による優れた指導の賜物でもあると思います。

より注意を向けて頂きたい音楽的要素についていくつかお伝えしたいと思います。

1. アゴーギク：テンポの変化が突然で速すぎるということがよく見受けられました。ルバートが不自然だと、ナレーション（語り口）やフレージングが途切れて聴こえてしまいます。
2. バランス：左手の伴奏が重すぎることがありました。伴奏と旋律の違いも十分とはいえません。
3. ペダルの使い方：強すぎたり、長めにペダルを踏んでいる方が多かったように思います。特にメヌエット、ワルツ、マズルカ（マズール、オベレク、クヤヴィアク）、ポロネーズなどの舞曲では、もっと変化に富み、短いペダリングが必要です。
4. 個々の舞曲の美的な違いが足りなかったように思います。メヌエット、ワルツ、マズルカが同じように演奏されていることが非常に多かったです。これらの舞曲の個々の特徴、特徴的なステップ、それぞれの違いを知り、学ぶことが大切です。
5. 時折、アーティキュレーション、フレージング（スラー）、強弱のような音楽的要素について、楽譜に忠実でないことがありました。

最後に、参加者の皆さんと先生方にお祝いを申し上げるとともに、皆さんのご健勝とご成功、そして音楽を通して喜びを感じて頂けるようお祈りしたいと思います。

### ●審査員 C

まず、参加者の皆さんが非常に高いレベルの演奏をされたことに、お祝いを申し上げたいと思います。若い年齢の皆さんが、美しい音楽のフレーズを導き、柔軟な手で歌うようなレガートを奏で、多彩な音と音楽表現を形作ることに気を配っていることを嬉しく思います。これからも根気よくピアノの技術や音楽的な想像力を磨き、さらにレパートリーを増やしていきましょう。そしてまた、技術は作曲家のアイデアを伝えるための手段に過ぎず、それ自体が目的ではないことを忘れないようにしましょう。これからもがんばってください。これからのみなさんのピアノ学習がより充実したものとなるよう願っています。

### ●審査員 D

皆さん技術的には殆ど問題なく、音楽的にも表情をつけて弾こうとしていらっしゃるのですが、考え過ぎと言うか作り過ぎの方が多く感じました。部分的に切り取るとなかなか良いのですが細切れの方が多く、もっと自然に伸びやかに、そしてもっと変化をはっきりつけて大きな流れを作るように心がけていただくと、より素晴らしくなると思います。

### ●審査員 E

とてもしっかり弾くことが出来ていました。ただもう少し調性の違いや曲の中の変化を味わいながら表現出来ると更にいいですね。音の響きを大切によく聴きながら演奏してくださいね。これからは楽しみな方が沢山いらっしゃいました。是非頑張ってください。

### ●審査員 F

さすがにアジア大会だけあって、素晴らしい演奏が続き、聴きごたえがありました。皆さんとても歌心があり、思いの伝わる演奏が多かったです。細かいところにも意識が向いていて、良く音楽を作りこんでいました。もう少しフレーズを大きくとって、曲全体の構成を考えると、さらに自然でシンプルな演奏になるのでは、と感じる演奏もありました。地区本選からアジア大会までのこの成長の大きさを考えると、参加者の努力はもちろんですが、指導者、そしてご家族の方々のサポートがどれだけ大きかったかと思わずにはられません。皆さんに「おめでとうございます」とお伝えしたいです。